

大学院専門法務研究科令和 8 年度特別入学者選抜 口述試験における課題の設問趣旨

口述試験において、近年、裁判及び学説において新たな争点として登場している論点を示した上で、どのような法律について、どのような点が問題となっているのか、その解決に関する積極消極両説の論理を考えさせた上で、受験者個人の見解を述べさせることとした。このような方法により、法曹コースにおける学習到達度、及び、「法曹に対する適性、理解力、判断力を考慮して総合的に評価する」ことが、当該課題の趣旨である。